

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果について

令和5年4月に全国の小学6年生、中学3年生を対象に実施された、「全国学力・学習状況調査」の結果が発表されました。実施された「国語」「算数」の2教科について、本校の傾向をお知らせいたします。
ご家庭で今一度ご覧になり、今後の学習の参考にしてください。

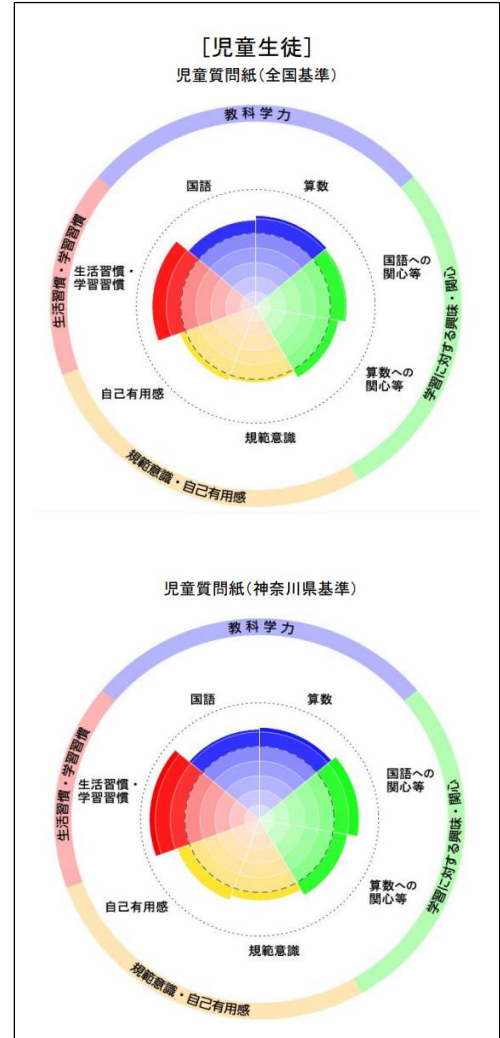
○本校の調査結果〈学力〉

国語	平均正答率		
	全体	知識・技能	思考・判断・表現
本校	73%	77.5%	69.0%
神奈川県	66%	68.5%	64.0%
全国	67.2%	68.9%	65.5%

算数	平均正答率		
	全体	知識・技能	思考・判断・表現
本校	72%	76.9%	65.5%
神奈川県	63.0%	67.8%	57.2%
全国	62.5%	67.2%	56.5%

グラフの見方

- ・上のグラフは全国と、下のグラフは神奈川県との比較。
- ・点線が全国・県の学力・学習状況の結果。各分野の色の濃い部分が本校の学力・学習状況を表している。



○調査結果より

全国、神奈川県の前答率と本校を比較すると、全体で国語はおよそ7%、算数は9%高い前答率を示しています。国語では「知識・技能」で全国平均、神奈川県平均ともにおよそ9%上回っており、また、「思考・判断・表現」では、全国平均を3.5%、神奈川県平均を5%上回っています。

算数では「知識・技能」「思考・判断・表現」ともに、全国平均、神奈川県平均をおよそ9%それぞれ上回っています。昨年度同様に、いずれも高い数値を示しており、学んだ基礎・基本的な知識やそれを活用する力が定着している様子が伺えます。特に、国語科学習への関心が高く、「国語の授業の内容がよくわかりますか」という質問に対して72.1%の児童が「当てはまる」と回答しており、これは全国平均、神奈川平均をおよそ30%上回っています。今後も学習の基礎となる国語の力を高め、学習内容の定着を図っていけるよう取り組んでいきます。

生活習慣・学習習慣も高い数値を示しています。「早寝早起き」や「朝食をしっかり摂る」といった生活リズムを身に付け、規則正しい生活を送る児童が多いだけでなく、「人が困っているときは、進んで助けていますか」という質問に対しては、およそ95%の児童が「当てはまる」もしくは「どちらかといえば当てはまる」と回答しており、相手を思いやり、進んで行動しようとする姿勢もみとれます。

さらに、学校の授業時間以外に、普段から家庭で2時間以上勉強をしている児童は68%おり、これは全国平均をおよそ42%上回っています。

これからも家庭と学校が連携をして、子どもたちが安心して、楽しく学校生活を送り、学力を高めていけるよう指導・支援をまいります。引き続きご協力をよろしくお願いたします。

